ご注意：

本書は取り扱い説明書から注意文など、製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したものです。操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった場合にお使い頂く事を念頭に編集しており、正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。

尚、正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。

http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PA27
取扱説明書

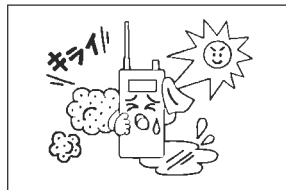
アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

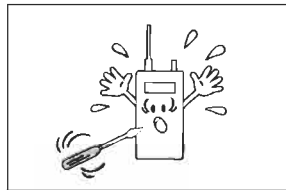
アルインコ株式会社

目　次

使用前のご注意

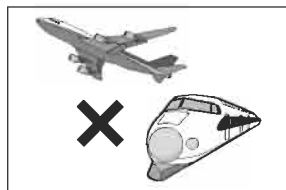
■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など）

日本国内でのみ使用してください。

This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離

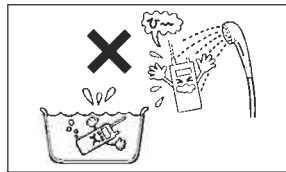
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

- 海上、山頂など条件のよい所　：2kmまたはそれ以上
- 河原など障害物のない平地　　：500m～1km程度
- 見通しのよい道、郊外の住宅地：500m程度
- 市街地のような障害物の多い所：200m程度

■障害物

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■水につけないで

日常生活防水仕様になっておりますが、雨の中でのご使用や、直接水につけて使用されると故障の原因となります。
なお、水、雪や汚れなどが付いたときは手早くふき取ってください。

■バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

機能と特長

- 回転収納アンテナ採用
- 交互通話用20CH、中継通信用27CH（計47CH）を搭載
- 音声通話の明瞭度を上げるコンパンダー機能*を搭載
- 見やすい大型ディスプレイ採用
- 日常生活防水仕様で携帯に便利なコンパクトボディ
- オプションのLi-ion充電池、Ni-Cd充電池に対応
- 本体の素材に丈夫なポリカーボネートを採用

（*コンパンダー機能は対応機種間のみに有効です。）

1 お使いになる前に

付属品と取り付け方

開梱しましたら、付属品を確認してください。

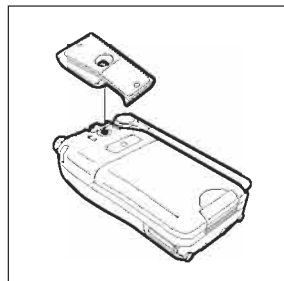
□ベルトクリップ（ネジ１本）
□ハンドストラップ
□取扱説明書（本書）
□保証書

注意 保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

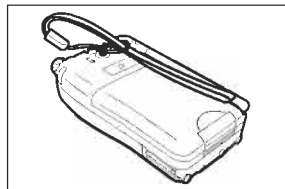
■ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面に取り付けます。
確実に取り付けたことを確認してください。

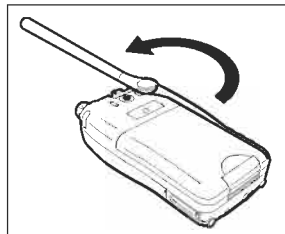
メモ
・長期間お使いになると、振動などで取り付けネジがゆるんでくることがあります。定期的にネジにゆるみがないか点検してください。
・ベルトクリップは消耗品で、スペアを部品として販売しています。本体をお買い求めの販売店にご相談ください。

1

■ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に右図のように取り付けます。

メモ　ベルトクリップとハンドストラップ両方取り付ける場合には、先にハンドストラップを取り付けてからベルトクリップを取り付けてください。

■アンテナの立て方

アンテナは回転式になっています。
ご使用の際には必ずアンテナを立ててください。

注意
- アンテナを回すときはゆっくりと根元を持って回してください。
- アンテナやハンドストラップの端を持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因になります。
- アンテナは電波法上、取り外せない構造になっています。

■乾電池の入れ方

①カバーを開ける

ロックを外してカバーを開けます。

②電池を入れる

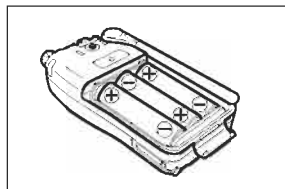
市販の単三形乾電池3本を、ケース内側の「+」、「−」表示にしたがってセットします。

注意

乾電池に関するご注意

・乾電池は使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。
　1.使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない。
　2.3本とも同じ種類の乾電池を使用する。
　3.分解、加熱しない。
　4.充電しない。
　5.長期間使用しないときは、乾電池を本体から取り出しておく。

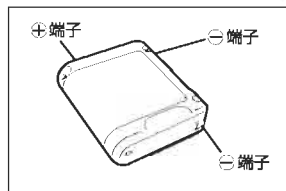
市販の単三形充電池について

・容量・電圧およびその他の仕様が弊社の製品と合わない可能性があり、故障の原因となりますので市販の充電池は絶対に使用しないでください。
・弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池は容量や構造の違いから、充電をおこなうと故障や事故の原因となる可能性がありますので絶対に充電しないでください。

③カバーを閉める

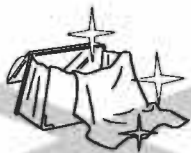
ツメを合わせてカバーを閉め、ロックをかけます。
きちんと閉まっていることを確認してください。

本機は単三形乾電池、EBP-25N（ニッカドバッテリーパック）、EBP-70（リチウムイオンバッテリーパック）でご使用ください。市販の充電池をご使用になっての不具合は保証の対象外とさせていただきます。

■バッテリーパックのショート防止のご注意

バッテリーパックを持ち運ぶときには、端子がショートしないようにビニール袋に入れるなど注意してください。（P.13）
ショートすると、大電流が流れて火傷や火事を起こす危険があります。

■バッテリーパックの保管と携帯について

バッテリーパックを保管、携帯するときは、以下のことに注意してください。

金属物を一緒にしてカバンなどに入れないでください。

金属メッキしている布に包んだり、内側が金属加工のカバンなどに直接入れたりしないでください。

釘や画鋲などの金属類に端子を触れさせたり、電気を通す物がある場所に置かないでください。

カバンなどに入れるときは、電気を通さない布や袋で包んでください。

電気を通さない物などを敷いてから、置いてください。

1

■バッテリーパック（オプション）

バッテリーパックは出荷時には充分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。

ニッカドバッテリーパック　　　：EBP-25N（3.6V 700mAh）
リチウムイオンバッテリーパック：EBP-70（3.7V 1000 mAh）

●バッテリーパックの充電方法

バッテリーパックと充電器の適切な組合せについては、下図を参照してください。
○の組合せが使用できます。（約…時間）は、空のバッテリーパックを満充電するのに必要な時間を示します。

充電器 ＼ バッテリーパック	ニッカドバッテリーパック EBP-25N	リチウムイオンバッテリーパック EBP-70
EDC-109J ツイン急速充電器セット	○（約2時間）	
EDC-115 標準充電器セット	○（約12時間）	
EDC-158A ツイン急速充電器セット		○（約2.5時間）
EDC-158R 連結充電スタンド		○（約2.5時間）
EDC-162 大容量ACアダプター（連結充電用）		

注意　連結充電スタンド（EDC-158R）を2台以上連結して充電する場合、必ず大容量のACアダプター（EDC-162）が必要となります。

メモ　EDC-162で最大4台の連結充電スタンド（EDC-158R）を連結して、一度にトランシーバー8台まで充電することができます。

●充電器の使用方法

> **注意** 本書の「警告」(P.1)、オプションの取扱説明書の「ご使用になる前に」と「充電時のご注意」をご使用前に必ずお読みください。

□EDC-109J（ツイン急速充電器セット）による充電方法

付属品：ACアダプター、充電スタンド

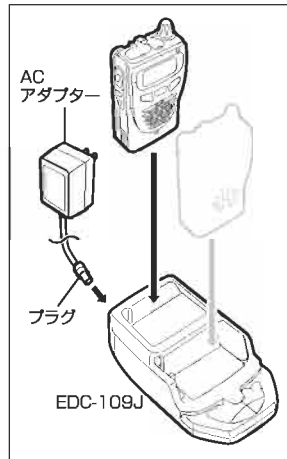
①トランシーバー本体にニッカドバッテリーパック（EBP-25N）を装着します。

> **注意**
> ・ニッカドバッテリーパックの極性に注意して装着してください。
> ・EDC-109Jは、リチウムイオンバッテリーパック（EBP-70）の充電はできません。

②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。

③ACアダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。
（すべてのインジケーターが点灯したあと消灯します。）

④インジケーター側にトランシーバーの前面を向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。（2台同時、または前後どちらかのポケットで1台でも充電可能です。）
充電スタンドのCHG ランプ（赤色）が点滅し、充電状態になります。

⑤充電が完了すると、CHGランプ（赤色）が消え、充電完了のFULLランプ（緑色）が点灯します。

EDC-109Jは保護回路が働いた場合、CHGランプ（赤色）とFULLランプ（緑色）が同時に点滅します。この場合、バッテリーパックが正しく装着されているか確認し、異常が見当らないときは電池の消耗が考えられますので、バッテリーパックを交換してください。それでも正常に動作しないときは、使用を中止して当社サービスセンターへご相談ください。

□EDC-115（標準充電器セット）による充電方法

付属品：ACアダプター、充電スタンド

①トランシーバー本体にニッカドバッテリーパック（EBP-25N）を装着します。

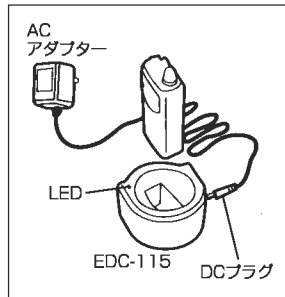
ニッカドバッテリーパックの極性に注意して装着してください。

②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。

③ACアダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。

④インジケーター側にトランシーバーの前面を向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。
充電スタンドのCHARGEランプ（赤色）が点灯し、充電状態になります。

⑤約12時間で充電完了します。規定の時間が過ぎましたら、トランシーバー本体を充電スタンドから抜いてご使用ください。

赤色のランプは通電状態を示すもので、充電の状態にかかわらず、常に点灯しています。

□EDC-158A（ツイン急速充電器セット）による充電方法

付属品：ACアダプター、充電スタンド

①トランシーバー本体にリチウムイオンバッテリーパック(EBP-70)を装着します。

注意

・リチウムイオンバッテリーパックの極性に注意して装着してください。
・EDC-158A/Rは、リチウムイオンバッテリーパック（EBP-70）専用です。ニッカドバッテリーパック（EBP-25N）の充電はできません。

②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。

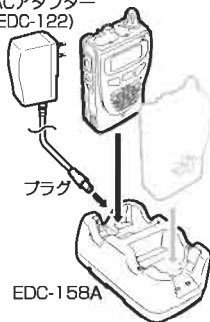
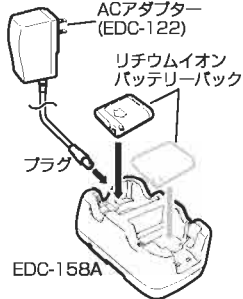
③ACアダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。

④インジケーター側にトランシーバーの前面を向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。（2台同時、または前後どちらかのポケットで1台でも充電可能です。）
充電スタンドの赤色ランプが点灯し、充電状態になります。

⑤充電が完了すると、赤色ランプが消灯します。

メモ

トランシーバーから取り外してバッテリーパックのみを充電することもできます。バッテリーパックの極性に注意して装着してください。

1

充電ランプの動作について

EDC-158A/Rでリチウムイオンバッテリーパック EBP-70を充電する際、充電状態を知らせるランプが点灯しないことがありますが、故障ではありません。

- **バッテリーパックが満充電に近いと、充電開始を知らせるランプが点灯しません。**

  ある程度お使いになった状態でないと、充電ランプが点灯しないことがあります。過充電を防止するための回路が「この電池はまだ充電する必要がない」と判断しているためで異常ではありません。

- **トランシーバーを前方のポケットに挿入するとランプが点灯するが、後方のポケットに挿入したときにはランプが点灯しない、あるいはその逆の動作をする。**

  充電開始を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが、異常ではありません。

いずれの場合も、しばらくトランシーバーを使用してバッテリーを消耗させてから充電してください。

□EDC-158R（連結充電用スタンド）による充電方法

付属品：接続ステー

EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプター（EDC-162）が必要となります。

メモ　トランシーバーから取り外してバッテリーパックのみを充電することもできます。

①ACアダプターがEDC-162であることを確認してください。

②スタンドのコネクタ同士を接続します。スタンドは最大4台まで接続できます。

③付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。
確実にスタンド同士が固定されたことを確認してください。

④ACアダプターのコネクタを端のスタンドのコネクタに接続します。

⑤アダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。

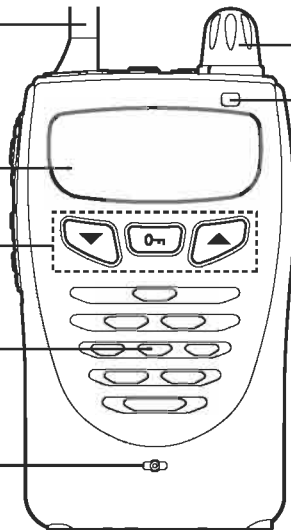
⑥インジケーター側にトランシーバーの前面を向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。（DJ-PA27を最大8台まで一度に充電することができます。）
充電スタンドの赤色ランプが点灯し、充電状態になります。

⑦充電が完了すると、赤色ランプが消灯します。

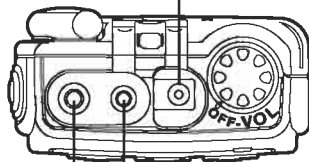
1

各部の名前とはたらき

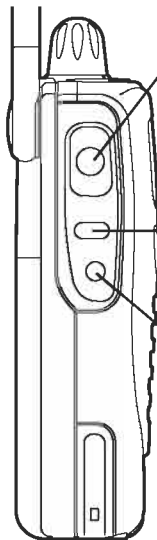
本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

■前面部

■上面部

外部電源端子
オプションのACアダプター（EDC-122）やシガーライターケーブル（EDH-33）が接続できます。

> **注意** 外部電源のプラグの抜き差しは、本機の電源をOFFにしてからおこなってください。

イヤホン端子
イヤホンや外部スピーカーが接続できます。

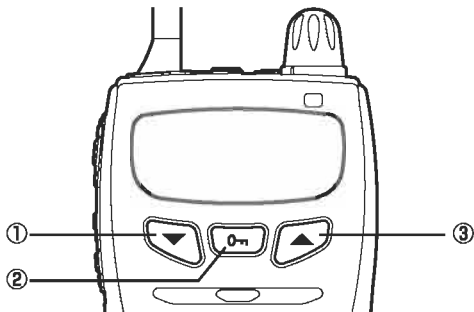
マイク端子
外部マイクが接続できます。

■側面部

[PTT] キー
押すと送信します。離すと受信待ち受け状態になります。
各種設定を確定する際にも使用します。

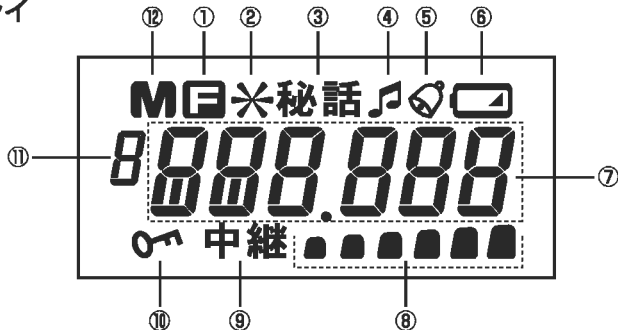
[MONI] キー
相手の音声が途切れるときに使用します。

[F] キー
各種設定の開始に使用します。

1

■キー配置

	キー名称	機　能
①	▼（ダウン）キー	チャンネル番号を下げます。 F点灯状態（*1）ではグループ番号を下げます。 セットモードの設定値選択（P.34）、 コールトーン機能（P.28）にも使用します。
②	[O┳]キー [GROUP]／ [SET]キー	グループトーク機能に使用します。 約2秒押し続けるとキーロックができます。 セットモードの項目選択にも使用します。
③	▲（アップ）キー	チャンネル番号を上げます。 F点灯状態ではグループ番号を上げます。 セットモードの設定値選択（P.34）、 コールトーン機能（P.28）にも使用します。

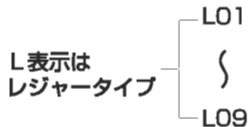
*1：F点灯状態とは、［F］キーを押してディスプレイにFを点灯させた状態です。

■ディスプレイ

	説　明
①	［F］キーを押すと点灯します。
②	VOX機能設定時に点灯します。（P.38）
③	秘話機能設定時に点灯します。（P.39）
④	コンパンダー機能設定時に点灯します。（P.37）
⑤	ベル機能設定時に点灯します。（P.41）
⑥	電池の残量を表示します。（P.33）
⑦	チャンネル番号、グループ番号、セットモード項目を表示します。
⑧	受信信号の強さを表示します。（Sメーター）
⑨	中継通信チャンネル時に点灯します。
⑩	キーロック中に点灯します。（P.31）
⑪ ⑫	本機では使用しません。

1

■チャンネル表示について

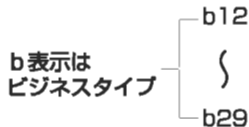
●交互通話時

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

Ｌ表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ（9チャンネル機）と通信できます。

ｂ表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ（11チャンネル機）と通信できます。

●中継通信時

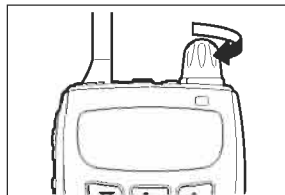
レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

9チャンネル

18チャンネル

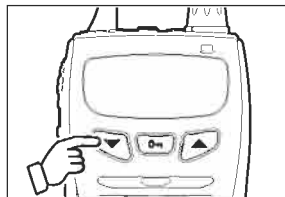
基本操作

本機を使用する上で基本となる操作を説明します。

■電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回し、電源を入れます。
ツマミを時計方向に回すほど音量が大きくなります。

メモ　［MONI］キーを押すと「ザー」というノイズが聞こえます。ノイズ音を目安にツマミを回すと音量を調整しやすくなります。

■チャンネルを合わせる

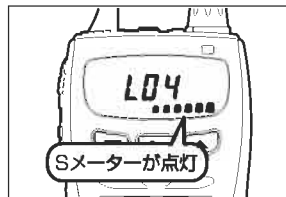
▲または▼キーで通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。L（レジャー）、b（ビジネス）の表示に注意して合わせてください。

メモ　押し続けると連続して変化します。

■受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。

→インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが点灯します。

メモ

- 相手の声が途切れる場合、［MONI］キーを押してください。
  聞きやすくなることがあります。
  押している間、インジケーターが緑色に点灯します。
- ［F］キーを押しながら［MONI］キーを押すとモニター動作を保持します。同じ操作をおこなうと解除します。

■送信する

信号を受信していないことを確認してから、［PTT］キーを押します。［PTT］キーを押したままマイクに向かって話します。

→インジケーターが赤色に点灯します。

メモ　マイクと口元は約5cm離してください。

注意　一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警告音「ブブブ」が鳴り送信できません。（P.30）

［PTT］キーを離すと、受信待ち受け状態になります。

■中継通信用チャンネルで通信する（周波数帯A:440MHz帯送信）

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通信することができます。弊社製の交互通話用中継器が別途必要です。

①チャンネルを合わせる（L10～L18、b12～b29）

▲または▼キーで中継器とチャンネルを合わせます。

→中継チャンネル時には、「中継」が点灯します。

②送信する

①「PTT」キーを押し続けます。

→約1秒後に「ピピッ」という音が聞こえます。

②「PTT」キーを押したままマイクに向かって話します。

・お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器側の周波数帯は本機とは逆の「B」に設定します。
・中継器にグループ番号が設定されている場合、P.28を参照してグループ番号を合わせます。

・中継通信用チャンネルでは、本機同士の直接通信はできません。
・それぞれの無線機が至近距離にあると誤動作することがあります。
子機 ― 中継器間、子機 ― 子機間は10m以上離してください。

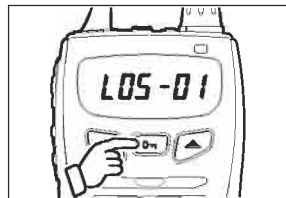
■コールトーン機能

送信中に▲キー、▼キーまたは同時に押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。それぞれのキーで呼び出し音は異なります。

■グループ番号を合わせる（グループトーク機能を設定する）

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

①［GROUP］キー押す

→グループ番号が点灯します。

②グループ番号を合わせる

［F］キーを押しながら、▲または▼キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

メモ

・グループ番号は、01～50の間で任意に設定できます。
・［F］キーを押したまま▲または▼キーを押し続けると連続して変化します。
・他のグループの声が聞こえるときは、別のグループ番号に設定し直してください。

③送信する

［PTT］キーを押しながらマイクに向かって話します。

→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

メモ

・グループトークはトーンスケルチと呼ばれることもあります。
・グループトーク機能のないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話することができません。

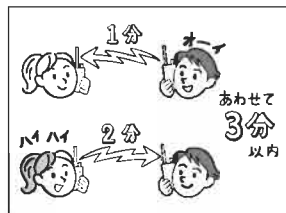
1

特定小電力の通信制限について

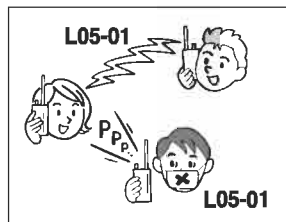
特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

■3分制限（3分以上は連続で送信できません）

送信、受信合わせて3分以内です。
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

注意　3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

■キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは［PTT］キーを押しても送信できません。
受信中に［PTT］キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意　ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

2 便利な機能

本機を使用する際に便利な機能を紹介します。

キーロック（2タイプ）

キーロックしておくと、誤操作などによる設定変更を防止できます。

> **メモ** キーロック中でも、電源オン／オフ、送信、モニターは操作可能です。

■簡易キーロック

●キーロックする

［ 0-π ］キーを約2秒押します。

→「LoC-1」が点滅した後、0-π が点灯します。

●キーロックを解除する

キーロック中に［ 0-π ］キーを約2秒押します。

→ 0-π が消灯しキーロックが解除されます。

■通常キーロック

●キーロックする

［F］キーを押しながら、［🔑］キーを約2秒押します。

→「LoC-2」が点滅した後、🔑が点灯します。

2

●キーロックを解除する。

キーロック中に［F］キーを押しながら、［🔑］キーを約2秒押します。

→ 🔑が消灯しキーロックが解除されます。

注意
・キーロック解除は、キーロックをかけた時と同じ操作かリセットしないと解除できません。
・業務用途などで簡単にロックを解除したくないときは、通常キーロックをお勧めします。

バッテリー警告機能

電池の残量が少なくなると ▭ が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると ▭ が点滅します。
点滅しましたら、新しい電池と交換してください。

メモ　オプションのニッカドバッテリーパック（EBP-25N）またはリチウムイオンバッテリーパック（EBP-70）をご使用の場合、セットモードの電池選択機能（P.36）で、使用する電池の種類を選択してください。バッテリー警告マークを交換時期に合わせて正しく表示することができます。

リセット

設定状態などがわからなくなったときに初期化します。

［F］キーと［MONI］キーを同時に押しながら電源を入れます。

→ディスプレイ全点灯中に［F］キーと［MONI］キーを離します。

2

3 セットモード

各種機能を用途に合わせてより使いやすくするために、本機をカスタマイズすることができます。

セットモード一覧

	カスタマイズ項目	参照ページ	初期値
1	電池選択機能	P.36	AL
2	コンパンダー機能	P.37	OFF
3	VOX 機能	P.38	OFF
4	秘話機能	P.39	OFF
5	ビープ音量設定	P.40	Lo
6	エンドピー機能	P.40	ON
7	ベル機能	P.41	OFF
8	ランプオン／オフ設定機能	P.41	5秒
9	PTT ホールド機能	P.42	OFF
10	PTT オン／オフ機能	P.43	ON
11	自動接続手順変更機能	P.43	ON2

P.35からP.43にセットモードの各項目の設定方法を記載しています。
なお、掲載しているディスプレイ表示は、工場出荷（初期）状態のものです。

各項目の設定方法

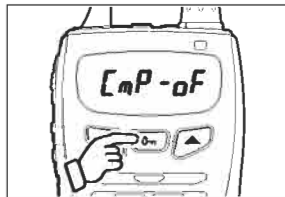
**セットモード共通の基本的な操作方法は次のとおりです。
各項目の詳細は、該当するページを参照してください。**

①セットモードにする

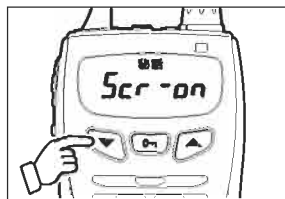
［F］キーを押しながら、［SET］キーを押します。

→セットモードに入り、カスタマイズできる項目が表示されます。

②カスタマイズ項目を選択する

［SET］キーを押すごとに項目が切り替わります。
［F］キーを押すと前項目に戻ります。

③設定値を変更する

▲または▼キーを押して設定値を変更します。

3

④設定を完了する

［PTT］キーを押して設定を完了します。

電池選択機能

オプションのバッテリーパック（EBP-25N,EBP-70）を使用する場合には、バッテリー警告マークを正しく表示させるために使用する電池を選択してください。
初期状態ではAL（アルカリ乾電池）に設定されています。

●電池の設定をする

①セットモードにして「bAt」を選択します。
②▲または▼キーを押して「AL　Li　ni」の中から選択します。

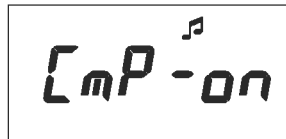
AL：アルカリ乾電池／オキシライド乾電池
Li ：リチウムイオンバッテリーパック（EBP-70）
ni ：ニッカドバッテリーパック（EBP-25N）

コンパンダー機能

コンパンダー機能を設定すると、音声通話の明瞭度を上げることができます。

●コンパンダー機能を設定する

①セットモードにして「CmP」を選択します。
②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

→コンパンダー機能設定時には、「♫」が点灯します。

コンパンダー機能のないトランシーバーとも通話はできますが、音声が聞き取りにくいことがあります。その場合にはコンパンダー機能をOFFに設定してください。

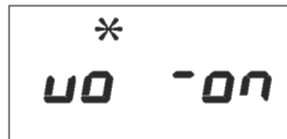
VOX機能

［PTT］キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えられる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声がなくなれば受信に切り替わります。
ハンズフリーでの通話が可能になり両手が使えないときに便利です。
初期状態ではOFFに設定されています。

●VOX機能の設定をする

①セットモードにして「vo」を選択します。
②▲または▼キーを押して「oF　Lo　Hi」の中から選択します。

→VOX機能設定時には、「✳」が点灯します。

oF： VOX機能 OFF
Lo： VOX感度 小（大きな音で反応します。）
Hi ： VOX感度 大（小さな音で反応します。）

オプションマイクでの使用方法

●EME-19A（ヘルメット用ヘッドセット）でVOX機能を使用する場合、

①セットモードVOX機能で「Lo , Hi」のどちらかを選択します。
②セットモードPTTオン／オフ機能でPTTオフを選択します。
③ヘッドセット側の黒ボタンは押し込んだままマイクに向かって話してください。

●VOX機能付きのマイク（EME-12A,13A,15A）でVOX機能を使用するときは、本体側のVOX機能はOFFにしてください。

注意
・VOX機能は一部のオプションマイクでは使用できません。P.46のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX感度を「Lo」に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所ではこの機能はご使用になれません。
・VOX機能を使うと、通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。

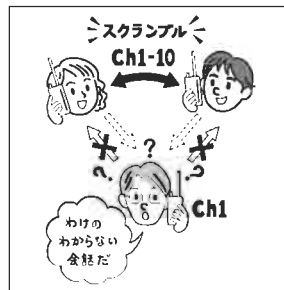
秘話機能（スクランブルトーク）

スクランブルトークにすると、他の人には会話の内容が理解できなくなります。
秘話機能を搭載した弊社製トランシーバー間で通話することができます。

●秘話モードにする

①セットモードにして「Scr」を選択します。
②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

→秘話機能設定時には、「秘話」が点灯します。

注意
トランシーバー間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による傍受を完全に阻止できません。そのため、機密を要する重要な通話に使用することはおすすめできません。

ビープ音量設定

本機から鳴るビープ音（操作音）の音量を設定します。
初期状態では「Lo」が設定されています。

●ビープ音量の設定をする

bEP-oF

①セットモードにして「bEP」を選択します。
②▲または▼キーを押して「oF　Lo　Hi」の中から選択します。

→「oF」に設定するとすべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）が鳴らなくなります。
「Hi」に設定するとすべてのビープ音量が大きくなります。

注意　イヤホンを使用した状態でビープ音量を「Hi」に設定すると、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

エンドピー機能

［PTT］キーを離したときの「ピッ」音のON/OFFを設定します。
初期状態ではON に設定されています。

●エンドピーの設定をする

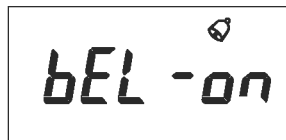
①セットモードにして「EdP」を選択します。
②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

ベル機能

呼び出されたことを表示とベル音でお知らせします。
初期状態ではOFFに設定されています。

●ベルの設定をする

①セットモードにして「bEL」を選択します。
②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

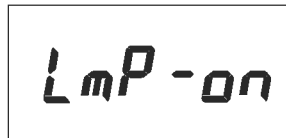
→ベル機能設定時には、「」が点灯します。

メモ　約10秒間通話が途切れたあとに受信したとき、ベルが作動します。

ランプオン／オフ設定機能

ディスプレイ照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、キー操作をすると自動的に5秒間照明が点灯するように設定されています。

●ランプの設定をする

①セットモードにして「LmP」を選択します。
②▲または▼キーを押して「oF　5(秒)　on(常時点灯)」の中から選択します。

3

注意　ディスプレイ照明を常時点灯させると電池の消耗が早くなります。

PTTホールド機能

［PTT］キーを一度押すと送信を継続する機能です。もう一度押すと受信待ち受け状態になります。この設定をおこなうことで、［PTT］キーを押し続ける必要がなくなります。
初期状態ではOFFに設定されています。

●PTTホールドの設定をする

①セットモードにして「HLd」を選択します。
②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

HLd-on

メモ　PTTホールド機能ONで送信した場合、3分送信のタイムアウト（P.30）後、約2秒経過で自動的に送信を再開します。（交互通話時のみ）

注意　PTTホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。P.46のオプション一覧表をご覧ください。

PTT オン／オフ設定機能

本機を受信専用で使用する場合に、送信を禁止する機能です。［PTT］キーを押しても送信できません。初期状態ではONに設定されています。

●PTT オフの設定をする

①セットモードにして「Ptt」を選択します。
②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

→OFFに設定すると送信が禁止されます。

3

自動接続手順変更機能

中継動作自動接続手順を変更する機能です。
接続タイミングの異なる中継器へのアクセスに活用できます。
初期状態ではON2に設定されています。

●自動接続手順を変更する

①セットモードにして「At」を選択します。
②▲または▼キーを押してOFF、ON1、ON2から選択します。

OFF ：自動接続手順解除
ON1：DJ-R20D、DJ-R100Dを中継器とするとき
ON2：DJ-P10R、DJ-P11Rを中継器とするとき

4 付　録

本機の補足事項を記載しています。

各チャンネルの送受信周波数

■レジャーチャンネル

L01	422.2000MHz
L02	422.2125MHz
L03	422.2250MHz
L04	422.2375MHz
L05	422.2500MHz
L06	422.2625MHz
L07	422.2750MHz
L08	422.2875MHz
L09	422.3000MHz

	受　信	送　信
L10	421.8125MHz	440.2625MHz
L11	421.8250MHz	440.2750MHz
L12	421.8375MHz	440.2875MHz
L13	421.8500MHz	440.3000MHz
L14	421.8625MHz	440.3125MHz
L15	421.8750MHz	440.3250MHz
L16	421.8875MHz	440.3375MHz
L17	421.9000MHz	4403500MHz
L18	421.9125MHz	440.3625MHz

■ビジネスチャンネル

b01	422.0500MHz
b02	422.0625MHz
b03	422.0750MHz
b04	422.0875MHz
b05	422.1000MHz
b06	422.1125MHz
b07	422.1250MHz
b08	422.1375MHz
b09	422.1500MHz
b10	422.1625MHz
b11	422.1750MHz

	受　信	送　信
b12	421.5750MHz	440.0250MHz
b13	421.5875MHz	440.0375MHz
b14	421.6000MHz	440.0500MHz
b15	421.6125MHz	440.0625MHz
b16	421.6250MHz	440.0750MHz
b17	421.6375MHz	440.0875MHz
b18	421.6500MHz	440.1000MHz
b19	421.6625MHz	440.1125MHz
b20	421.6750MHz	440.1250MHz
b21	421.6875MHz	440.1375MHz

	受　信	送　信
b22	421.7000MHz	4401500MHz
b23	421.7125MHz	440.1625MHz
b24	421.7250MHz	440.1750MHz
b25	421.7375MHz	440.1875MHz
b26	421.7500MHz	440.2000MHz
b27	421.7625MHz	440.2125MHz
b28	421.7500MHz	440.2250MHz
b29	421.7875MHz	440.2375MHz

トーン周波数一覧（グループ番号）

番号	周波数	番号	周波数	番号	周波数	番号	周波数
01	67.0Hz	16	114.8Hz	31	192.8Hz	46	196.6Hz
02	71.9Hz	17	118.8Hz	32	203.5Hz	47	199.5Hz
03	74.4Hz	18	123.0Hz	33	210.7Hz	48	206.5Hz
04	77.0Hz	19	127.3Hz	34	218.1Hz	49	229.1Hz
05	79.7Hz	20	131.8Hz	35	225.7Hz	50	254.1Hz
06	82.5Hz	21	136.5Hz	36	233.6Hz		
07	85.4Hz	22	141.3Hz	37	241.8Hz		
08	88.5Hz	23	146.2Hz	38	250.3Hz		
09	91.5Hz	24	151.4Hz	39	69.3Hz		
10	94.8Hz	25	156.7Hz	40	159.8Hz		
11	97.4Hz	26	162.2Hz	41	165.5Hz		
12	100.0Hz	27	167.9Hz	42	171.3Hz		
13	103.5Hz	28	173.8Hz	43	177.3Hz		
14	107.2Hz	29	179.9Hz	44	183.5Hz		
15	110.9Hz	30	186.2Hz	45	189.9Hz		

オプション一覧

EBP-25N	ニッカドバッテリーパック
EBP-70	リチウムイオンバッテリーパック
EDC-115	EBP-25N用標準充電器セット
EDC-109J	EBP-25N用ツイン急速充電器セット
EDC-158A	EBP-70用ツイン急速充電器セット（EDC-122付属）
EDC-158R	EBP-70用連結充電スタンド
EDC-122	AC アダプター
EDC-162	EDC-158R連結充電用ACアダプター
EDH-33	シガーDC/DC コンバーター(12V/24V車対応)
EMS-59 (*1)	スピーカーマイク
EME-12A	VOX付きヘッドセット（ヘッドホンタイプ）
EME-13A	VOX付きヘッドセット（イヤホンタイプ）
EME-15A	VOX付きタイピンマイク
EME-19A (*2)	ヘルメット（安全帽）用ヘッドセット
EME-21A	イヤホンマイク（業務仕様）
EME-23A	イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイクイヤーフック付き（業務仕様）
EME-30A	イヤホンマイク（ブームマイク）
EME-31A	イヤホンマイク（タイピンマイク）
EME-6	イヤホン（ストレートコードタイプ）
EME-26	イヤホン（カールコードタイプ）
ESC-45	ソフトケース
EJ-57U	ユニバーサルコントローラー

(*1) EMS-59（スピーカーマイク）は、PTTホールド機能、VOX機能が使用できません。
(*2) バイク用ヘルメットには使用できません。

4

故障とお考えになる前に

本機が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。（P.10）	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電池を充電してください。
ディスプレイ表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電池を充電してください。
音が出ない。 **通話できない。**	音量が低すぎる。（P.25）	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。（P.25）	同じチャンネルに合わせてください。
	距離が離れすぎている。（P.7 ）	場所を移動してから交信してください。
	グループ番号が違う。（P.28）	グループ番号を合わせてください。
	送信している。	［PTT］キーを離してください。 PTTホールド機能ONで送信中は、もう一度［PTT］キーを押してください。
	中継器とチャンネル（グループ番号）が違う。	中継通信用チャンネルで運用の場合、中継器も同じチャンネル（グループ番号）に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。（P.30）	信号がなくなってから送信するか、 チャンネルを変更してください。
	通信制限時間を超過している。（P.30）	［PTT］キーを離し2秒たってから送信してください。
	PTTオン／オフ機能がOFFになっている。（ P.43）	セットモードでPTTオン／オフ機能をONに設定してください。

4

症　状	原　因	処　置
キー操作できない。チャンネルが変わらない。	キーロックされている。(P.31)	キーロックを解除してください。
充電しない。(オプション充電器使用時)	充電端子が汚れている。	本体底面の充電端子、充電器側の充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
		リチウムイオンバッテリーパック(EBP-70)使用の場合、本体から取り外してバッテリーパック単体で充電してみる。(P.17)

処置を実施しても異常が続くときはリセット（初期化）してください。
症状が回復する場合があります。

電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

4

■製造中止製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては、下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。

補修用部品の保有期間は、生産終了後5年です。

定格 DJ-PA27

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.7875~421.9125MHz(受信)
		422.2000~422.3000MHz
		440.2625~440.3625MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750~421.7875MHz(受信)
		422.0500~422.1750MHz
		440.0250~440.2375MHz(送信)
電波形式	F3E（FM）／F1D（FSK）	
送信出力	10mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBu以下（12dB　SINAD）	
中間周波数	1st　IF　21.7MHz／2nd　IF　450KHz	
音声出力	100mW以上	
消費電流	送信時約60mA	
	受信定格出力時約90mA	
	受信待ち受け時約50mA	
	バッテリーセーブ時（平均）約20mA	
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC4.5V	
外部電源端子	DC5.5V~DC6.0V　EIAJ規格：区分2	
動作温度範囲	-10℃~+50℃	
寸法	59（W）× 101（H）× 28（D）mm（突起物除く）	
質量	185g（単三形乾電池3本含む）	

4

■仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
■本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状などが異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
■本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。